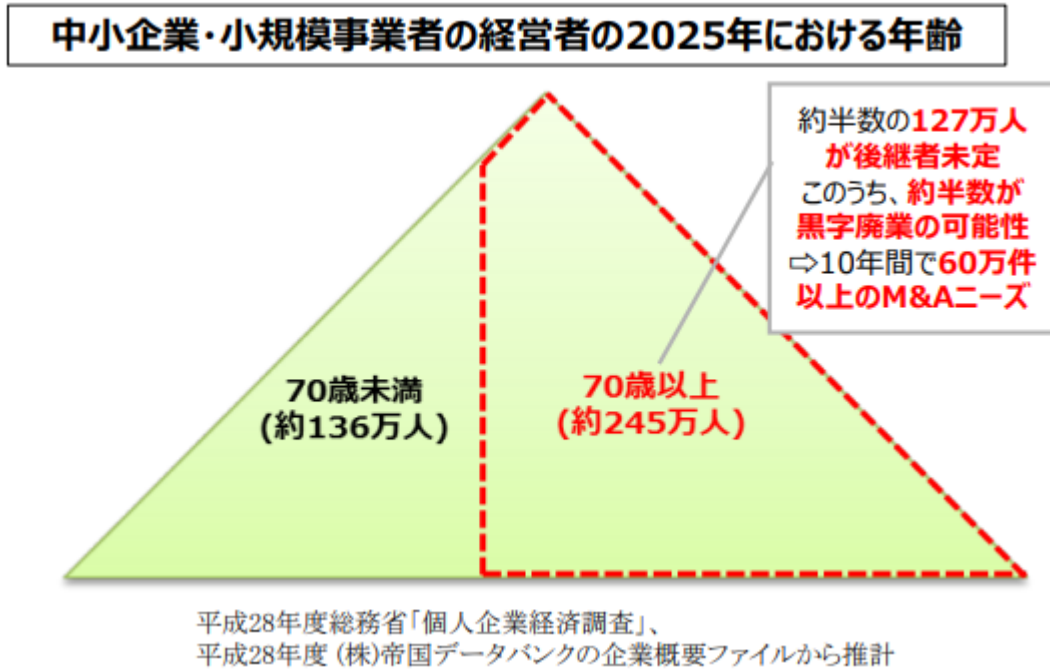


# 中小企業の事業承継の現状について(補足資料)

1. 2025年までに、70歳以上の経営者が245万人で、うち127万人が後継者不在と推測されている



出典: 中小企業・小規模事業者における M&A の現状と課題 中小企業庁作成より抜粋

[https://www.chusho.meti.go.jp/koukai/kenkyukai/hikutugigl/2019/191107hikutugigl03\\_1.pdf](https://www.chusho.meti.go.jp/koukai/kenkyukai/hikutugigl/2019/191107hikutugigl03_1.pdf)

2. 経営者年齢の高い企業においても、後継者が不在の企業が多く存在。

社長年齢が60代では約半数、70代では約4割、80代では約3割で後継者不在。

図 社長年齢別に見た、後継者決定状況 (中白小白第1-3-24図)



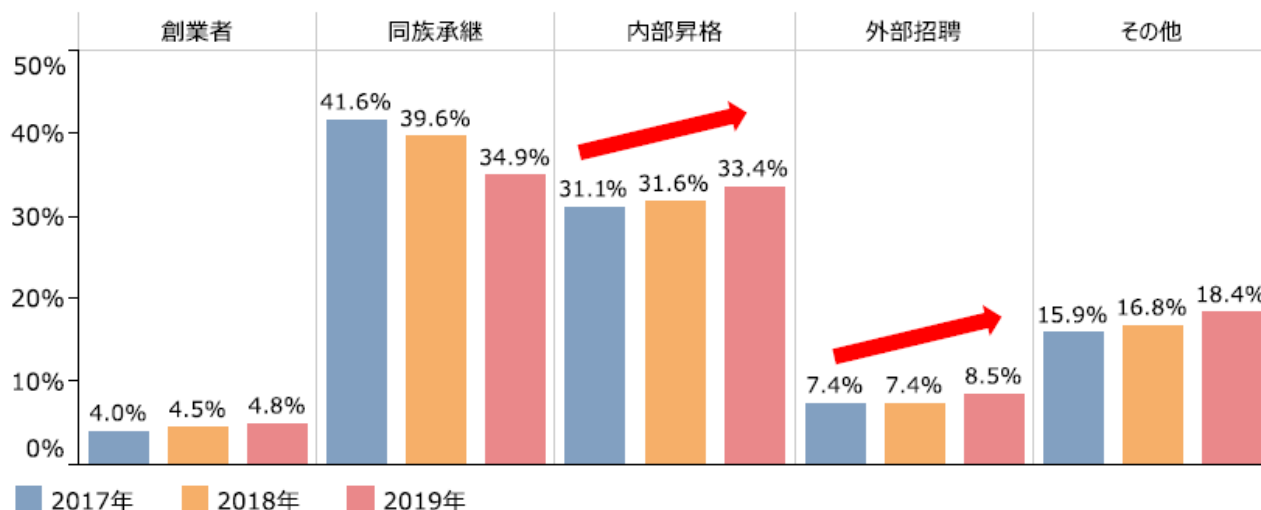
資料: (株)帝国データバンク「全国・後継者不在企業動向調査 (2019年)」

### 3. 事業承継をした社長と前経営者との関係

「同族承継」の割合が最も高いが、「内部昇格」や「外部招聘」が増加傾向にあり、親族外承継も事業承継の有力な選択肢となっている。

→事業承継の検討にあたっては、特に内部昇格や外部招聘の場合には債務の引継ぎ方も含めて、そのスキームの選択肢は多岐にわたる。各選択肢のメリットデメリットを考慮した上での経営判断が必要となる。

図 事業を承継した社長の先代経営者との関係 (中白小白第1-3-32図)



資料：(株)帝国データバンク「全国・後継者不在企業動向調査（2019年）」

出典：経済産業省 2020 版中小企業白書・小規模企業白書